



No	評価項目	総合判定	学校による考察・改善方針	対象	評価点4	評価点3	評価点2	評価点1	評価点平均	判定	質問項目	前年度	一昨年度	
11	事故防止・安全教育	A	交通安全の徹底に関しては、生徒の94%が肯定的に捉えているが、保護者、教員の意識は、生徒と比較してやや低い。決められた日と一斉下校時の登下校指導を一人一人の教員が確実に実施していきたい。	生徒	60%	34%	4%	2%	3.5	◎	砥部中は、生徒の事故防止や交通安全に力を入れている。	A	A	
				保護者	19%	65%	13%	3%	3.0	◎	学校は生徒の事故防止や交通安全の徹底している。			
				教員	28%	55%	14%	3%	3.1	◎	徹底した交通安全指導を行っている。			
12	挨拶の習慣	A	ときに触れ、挨拶の大切さを話し、社会生活をしていく上での挨拶の大切さを考えさせ、学校全体で気持ちの良い挨拶を進んで交わす雰囲気を作る。	生徒	51%	40%	8%	1%	3.4	◎	私は、自ら進んで、気持ちのよいあいさつをするよう心がけている。	A	A	
				保護者	23%	51%	22%	5%	2.9	○	生徒は自ら進んで挨拶を行っている。			
				教員	48%	48%	3%	0%	3.4	◎	進んであいさつをするように指導を行っている。			
13	早寝・早起き・朝ごはん	B	家庭科、保健体育科等の授業を通して、規則正しい睡眠と朝食の重要性を学ばせ、主体的に実践につなげられるよう指導している。	生徒	44%	36%	16%	4%	3.2	◎	私は、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣が身に付いている。	B	B	
				保護者	28%	41%	21%	10%	2.9	○	お子様は早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。			
				教員	10%	69%	14%	7%	2.8	○	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付くよう指導を行っている。			
14	家庭・地域との連携	B	学校から発信するHPにて日々の授業等の様子を伝え、メールにて保護者への支援を充実させることができた。支援ボランティアと協力・連携を取り教育活動の充実を図る。	生徒								B	B	
				保護者	20%	56%	21%	3%	2.9	○	学校から家庭・地域への情報提供が充実している。			
				教員	14%	76%	7%	3%	3.0	◎	適切な情報発信に努め、信頼される学校づくりに努めている。			
15	砥部中学校への愛着	A	より一層、子どもの声を生かした活力ある学校、ぬくもりある学校、信頼される学校を目指し、お互いの存在を認め合える環境づくりや居場所づくりに努める。	生徒	63%	28%	6%	2%	3.5	◎	私は、砥部中学校が好きである。	A	A	
				保護者										
				教員	38%	59%	3%	0%	3.3	◎	砥部中学校に愛着がある。			
○評議員からの質問・所見 ◇学校の対応					学校の対応									
<p>1 部活動の地域移行について</p> <p>○部活動の地域移行について、今後の動向を教えてください。</p> <p>◇令和8年度から土日の部活動を廃止する方向で進められている。しかし、現状ではすべての部活動に対する受け皿が整っていない。平日（月曜日～金曜日）は学校で部活動を行い、土日祝日は生徒が希望するクラブに参加できるような仕組みが望ましいと考えている。</p> <p>○部活動は生徒にとって大切な居場所であり、楽しく過ごすための大きな役割を果たしている。一方で、「学校への愛着を感じていない」と感じている生徒が8%いるという現状もある。中学校生活を少しでも楽しいものにし、「学校への愛着を感じていない」と思う生徒を減らしていければいいと思う。そのためにも、部活動がないときの受け皿や、無料で安心して過ごせる場所の確保が今後の課題である。</p> <p>○家庭生活に関する課題も見受けられる。挨拶や早寝早起き、学習習慣の定着は、基本的には家庭での習慣に依存するが、家庭の状況によっては難しい場合もある。家庭が生徒にとって心地よい環境となるよう、学校としてもできる支援を検討していきたい。</p> <p>2 生活習慣や交通マナーについて</p> <p>○横断歩道で停まってくれた車への挨拶ができており、非常に気持ちの良い光景だった。</p> <p>○徒歩通生のマナーや自転車通学生の並走について、交通ルールを遵守するよう徹底することが必要である。</p> <p>○自転車通学生はきちんとヘルメットを着用して登校している。徒歩通学生についても、小学校で身に付けたマナーを守れており、大きな問題は見られない。</p> <p>○旧33号線では、朝の時間帯に小学生の登校と自転車通学生の通行が交錯し、危険な状況になることがあるため、十分注意して登校する必要がある。</p> <p>学校と地域との連携について</p> <p>○運動会や放課後学習講座の様子を見て、生徒と教員の間に温かい人間関係が築かれていることを実感した。</p> <p>○コミュニティ・スクールの活動の一環として、校内の見守り巡回をお願いするのも良いのではないか。</p>					<p>・QRコード、URLによるアンケート方法をとっているが、回答人数は生徒409人、保護者192人で高くはない。もう少し回答率を伸ばしたい。</p> <p>・生徒アンケートの結果はプラスの評価の割合が、昨年度より下回った項目が1項目、上回った項目が4項目と昨年度より良い結果となっている。プラス評価の割合が90%を下回った項目は「早寝・早起き朝ごはんの生活習慣が身に付いている」「教育相談等による生徒に寄り添っている」「生徒一人一人を大切にしたい集団づくり」「いじめ・不登校問題に対する取組」であり、今後の課題である。</p> <p>・保護者アンケートの結果はプラスの評価の割合が、昨年度より下回った項目が3項目、上回った項目が3項目という結果である。プラス評価の割合が低い項目は「お子様は主体的に家庭学習を行っている」「学校はいじめ・不登校・非行問題等への生徒指導に力をいれている」「生徒は進んで挨拶を行っている」「お子様は早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている」である。教職員アンケートの結果はプラスの評価の割合が、昨年度より下回った項目が12項目、上回った項目が1項目と昨年度より厳しい結果となっており、自身の担当でない質問に対する回答の仕方を検討したい。</p> <p>・来年度の重点課題は次の3点について取り組むことが必要であると考えられる。1「早寝・早起き・朝ごはん生活習慣」について、生徒アンケート・保護者アンケート共に、プラス評価の割合が低い。令和6年度は1年生で保健体育、技術・家庭、学活で朝ごはんの大切さについて教科等横断的に学習を行った。今後は家庭への情報発信、家庭との連携の充実が必要である。2「いじめ・不登校・非行問題等への生徒指導」について、に保護者アンケートのマイナス評価の割合が高い。生徒アンケートからも一人一人を大切にしたい集団づくり、生徒に寄り添った学校づくりの向上が必要であることがうかがえる。毎月の調査や見守りを充実させ、未然防止に努めたい。3「家庭学習の向上に向けた主体的な学習習慣」について、特に保護者アンケートのマイナス評価の割合が48%であり、かなり高い。家庭での学習習慣がまだまだ身に付いていないと考えられる。授業改善を図りながら、家庭学習の充実につながるよう生徒一人一人の学習意欲の向上に努める。</p>									